

## 生きがいと健康づくりの推進 ⑬

### eスポーツ体験会



渡邊会長

10月18日、名古屋駅近くのeスポーツ高等学院で開催されたeスポーツの高齢者向け体験会。参加されました矢田六友会会長兼矢田学区老人クラブ連合会会長の渡邊敏昭さんにお話をお伺いしました。

『普段は東区矢田学区内で「パソコンサロン」として活動しているメンバー4名で参加しました。「パソコンサロン」会員は10名で、いつもパソコンやスマホで連絡を取り合っています。月一回集会所でも会合を行います。ズームで近況報告などを行い、健康状態を確認するなど見守り活動にもなっています。今回名古屋市から、2026年愛知・名古屋アジア大会の正式種目であるeスポーツの体験会参加のお話があり、男女会員4名で参加しました。eスポーツは聞いたことはありましたが内容は知りませんでした。体験会ではeスポーツ高等学院の生徒さんから同色のキャラクターを4体以上つなげて得点を稼ぐ「ぷよぷよ」というゲームの説明を受けました。最初は、慣れない会場でマスコミの取材もあって緊張しましたし、ルールやコントローラーの操作に戸惑いました。生徒さんの指導を受け、体験を繰り返すうちにできるようになりました。教えていただくと興味もわきますし、勝ち負けもあり大変深みのあるゲームだと思いました。私たちですぐにできる



こうしたテレビゲームは楽しく取り組めて、頭や身体、心までもが健康になり、社会参加にもつながることから、自分たちの活動の中でも取り入れていきたいと思えます』と話してみえました。



今回の体験会は、「ぷよぷよ」というゲームでしたが、音楽（リズム）に合わせ画面に出てくる目標物に合わせて太鼓の面とふちを叩く「太鼓の達人」というゲームも人気です。

こうしたeスポーツは、①身体的な負担が少なく楽しく参加できる、②複数人で競技することで交流や認知症予防にも効果がある、③ゲーム内で非日常が体験できて気分転換になる、などが報告され、シニア層の取り組みが全国的に始まっています。

今後、なごやかクラブ名古屋でも、健康づくり事業の一つとしてシニアeスポーツを広めていきたいと考えています。

初日は式典と老人クラブ文化祭

### 初日は式典と老人クラブ文化祭

児玉長榮秋田県老連会長の「歓迎の言葉」に始まり、村木厚子全老連会長の挨拶がありました。続いて育成功労者120名、優良老人クラブ表彰50クラブ、優良老人クラブ連合会表彰49連合会、永年勤続表彰者21名の授賞式があり、来賓祝辞の後、大会宣言が採択されました。

後半は、老人クラブ文化祭。地元10団体の皆さんが歌に踊りに演劇に熱演を披露されました。さすが民謡大国秋田、皆さん芸達者で、舞台衣装のモンペや野良着姿も板についていました。

### 2日目は活動発表（パネルディスカッション）

コーディネーターを迎え、秋田県老連、横浜市老連、山口県老連の皆さんが事例発表をされました。

来年開催地の神奈川県老連と川崎市老連の両理事長さんから次回大会報告があり、木村一義全老連副会長の閉会の言葉で終了となりました。

### 名古屋市老連の受賞者は次の方々です

#### 【全老連会長表彰】

◎老人クラブ育成功労表彰／伊藤彰（昭和区老連）、田口欽郎（南区老連）

◎優良老人クラブ表彰／羽城長寿会（熱田区老連）

◎優良郡市区町村クラブ連合会表彰／南区老人クラブ連合会

### 老人福祉法制定60周年記念

## 第52回全国老人クラブ大会

11月8日・9日  
みちのく秋田県で開催

会場は令和4年6月にオープンした秋田芸術劇場ミルハス、約1400名が参加。



村木全老連会長